

在庫削減のための 調達担当者が知るべき 需要予測入門セミナー

開催日時 **2024年 6月11日(火)** **2025年 1月21日(火)** **オンライン** **オンライン** 各回とも 13:00~16:30

対 象 • 調達部門の若手・中堅社員の方 • 在庫について知識を深めたい方

講 師 **坂口 孝則 氏**
未来調達研究所(株) 取締役

参加料(税込)

法人会員：33,000円/1名
会 員 外：39,600円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ね ら い

在庫削減を課題とする方は多いですが、今回は「調達担当者の視点で」在庫削減に貢献する手法を解説するプログラムです。

まず、在庫についての考え方を解説し、基本を理解していただいたうえで将来数量予測の手法について説明します。

最後に、これからの新たなフォーキャスト計算法について“実務でつかえる”考え方を丁寧に解説します。

実践的なプログラム構成ですので、調達組織のレベルアップのためぜひご受講を検討ください。

参加者の声

- システムを導入したもののシミュレーションモデルをどう活用していいかが分からなかったため、今回のセミナーで考え方を学べて大変良かったです。
- 在庫を持つことのデメリットを知ることが出来ました。また、SCMが上手くいかない理由が自社に当てはまっていたと感じました。移動平均法以外にもさまざまな方法を知ることができ、実際に活用し需要予測を立ててみようと思いました。
- 製品によって原料が異なることが多いため、やはりフォーキャストを重要視しなくてはならないことを再認識できた。在庫管理に対する新たな手法をご提案頂いたので社内にも展開したいと感じました。
- 全体の流れを説明しながら、ホワイトボードを活用し講義頂いたことで、問題なく理解することができた。非常にわかりやすい説明でした。

■ プログラム

半日 13:00~16:30

1 在庫を持つのはなぜダメなのか

- 在庫と企業の倒産
- 在庫のメリットとデメリット
- 取引先に在庫を強制できない
- 内示と発注の違い～契約書の法的解釈

2 サプライチェーン・マネジメントが 上手いできない理由

- サプライチェーン全体像
- 関連部門KPIの問題
- 生産分類による受注と納品
- 自社技術と市場の安定性マップ

3 将来数量予想の方法

- 実際の需要量と予想量
- 移動平均法
- 指数平滑法

4 これからの新たなフォーキャスト計算法

- FP法について
- 需要予測法の比較検討
- 実務上の予想方法
- 安全在庫について

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

